

令和元3年12月07日

子育て女性にきく、「就業と管理職」に関する

アンケート調査結果

《回答期間》 令和3年11月15日～12月6日 《有効回答数》 201名

子育て女性向けイベント・メディアのママハビを運営する(株)ルバートでは、20～40代を中心とする子育て中の女性たちに就業と管理職に関する意識調査を実施しました。お子さんの年齢は0歳、1歳が半数以上、就業状況はフルタイム勤務者が最も多く(33.7%)、次いで専業主婦(33.2%)、時短勤務(13.6%)でした。

このうち管理職(課長職以上)を打診してなりたいと回答した人が26%にとどまり、50%がなりたくないと回答。24%はどちらともいえない・わからないと回答しました。

管理職を打診されてもなりたくない、と回答した子育て女性のうち、理由としては

1位 家事育児と両立できなそう 34.3%

2位 自分に向いていると思えない 19%

3位 力量・スキルに自信がない 18.7% でした。

家事やケア業務が女性に偏っていることにより、今の状況では管理職が引き受けられないと考えていることが大きな障壁になっていることが、データや補足コメントから読み取れました。現状の職場の管理職の働き方が残業前提であったり、責任が増えなくても収入があまり上がらないことを理由に挙げている人も見受けられ、時間制約のある人材が働きやすい管理職の業務改善や仕組づくり・評価と待遇が改善されることで、目指してもよいと考える人が増える可能性があり、企業側も女性を管理職として育成するうえで大きなポイントだと思われます。

上司に求めることは、

1位 楽しい雰囲気をつくってほしい 16.5%

2位 何かあったら助けたり守ってほしい 16.2%

3位 方針・方向性を明示してほしい 14.5% となっており、職場の雰囲気がよく、何かあったら助けたり守ってもらえることと方向性を明確に示してくれることを期待しているという結果でした。この調査からは男女の差を抽出することはできませんが、女性育成の必要要素になるのだと思われます。

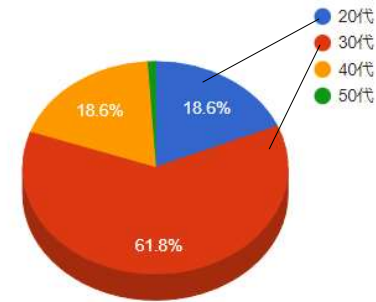
理想の上司像は男性1位 新庄剛志、女性1位 天海祐希でした。最近のメディア露出の影響もあると思いますが、上記の上司に求める要素を感じてる人が多いようです。

希望職種は多い順に、事務・オフィスワークが40.7%、医療・介護・福祉が19.1% でした。

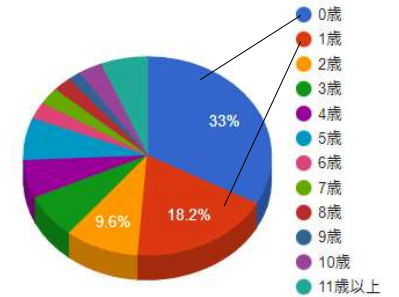
スキルアップしたい分野は1位 ワード、エクセル、パワーポイントなど Office スキル 13.4%、2位 カメラ・写真 9%、3位 動画制作や編集 7.9% でした。

====調査結果=====

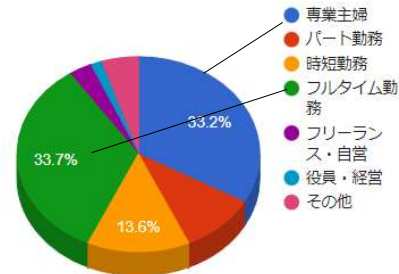
設問1. ご自身の年齢を選択してください。



設問2. お子さんの年齢を選択してください。(複数選択可)

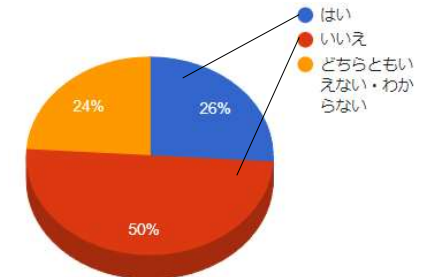


設問3. あなたについて当てはまる状況を教えてください。

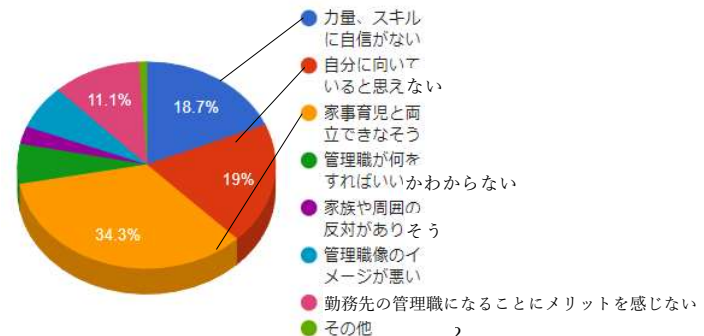


設問4. あなたがもし勤務先に打診されたら管理職になりたいと思いますか? (現在管理職の方は、はい、を選択してください)

※管理職については、一般的に課長職以上のことを指すこととします



設問5. 上記設問4の回答が「いいえ」の方へ。その理由に近いものを選んでください。(複数選択可)



設問6. 上記設問5について選択内容の補足や詳細がある方は記入をお願いします。その他を選択した方は詳細を教えてください。

「家事育児の両立は、家蔵や職場の理解が協力がないと出来ない。夫は、協力できないし望んでいない。職場でも、急に休みは支障があり、理解されない。」

「うちの会社の古い風習が残っているなかでは無理だと思う。」

「流行りにのって、女性の管理者を出したが、未婚なため、子育てしている働く女性にはあたりがきつい」「旦那が出張が多いため、ワンオペの事が多く、子ども中心の生活になるので、管理職で他の部下の面倒まで見きれないと思う。自分の部署だけで40人居るので、1人1人と向き合って個々を認めていける自信はない為。」

「まだ、自分が、未熟なので無理だと感じたから」

「いざという時に残業や責任を負うということと家庭を優先することが掛け持ちできるか気になる。でも家庭に限らず自分の大事にしたいことを大事にすることが当たり前の社会になってほしいとも思う。」

「役職になってもなくても、長く働くためのポイントとして、子供の成長段階で忙しくなる時期、2～4月や夏休み時期など、サポートがどのくらいまであるのかわかれば安心。」

「社風によるかと思いますが、管理職が率先して定時退社あるいは時短で働ける環境ならば、管理職になることを検討するかもしれません。」

「ストレスが多く、あまり幸せに生きているように見えないから。」

「管理職のかたは毎日朝早く夜も遅くて子どもとの時間が短くなりそうなので、受けたくないです。」

「販売業です。子どもを産む前は店長をしていましたが、子どもがいる以上閉店(22時)まで勤務することは不可能なので。」

「自分のキャリアアップややりがいという点ではチャレンジしたいけれど、家事育児との両立を考えると断らざるをえないです。歯がゆいです。ひとくくりにはいけないけれど、女性は男性よりキャリアと家事育児のバランスで悩む人が多いのではないのでしょうか。」

「子どもの急な発熱で休みづらい。」

「管理職の責任の重さと労働時間への不安。その業務量やプレッシャーを抱えつつ、母親としての安定した精神でいられる自信がない。」

「育児中はフルタイムでは働きたくないため」

「夫からは私が働くのを良く思っていない。まだ小さいのに保育園に預けるなんて、子供がかわいそうと言われた。」

「役職手当が少ないのでやるメリットを感じない為。」

「子供の急な体調不良で、いままでなんでも仕事で迷惑をかけてしまったので。」

「副業起業したい」

「管理職の前例として、家庭を犠牲にしているか、独身者しかいない。とてもではないが、子どもがいてバリバリ働けない、としか思えない。」

「人をまとめる自信がない」

「女性が管理職につくこと自体、まだまだ今の日本ではあまり無いことだと思う」

「管理職と一般とお給料があまり変わらないから。」

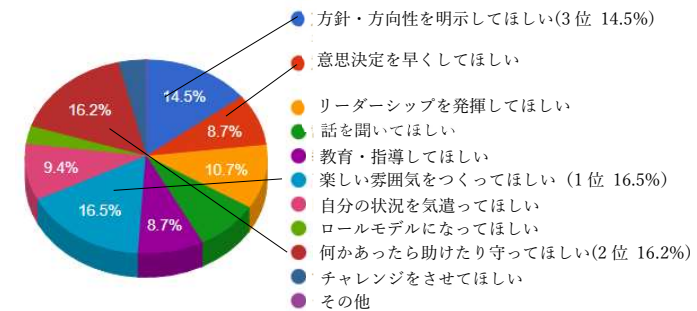
「職場の課長以上はほぼ男性で、リモートワークしてても役員からの急な呼び出しがあったり、遅くまで残業してたり、とても育児と両立できると思えないし、責任を負いたくない。」

「以前販売職で店舗の店長として勤務しておりました。」

育児をしながら働いた事はありませんが、フルタイムの勤務は難しいのではないかと感じます。特に管理職は働きにくいと思います。」

「管理職は忙しい割に残業代の支払いもないので、全くメリットを感じないです。」

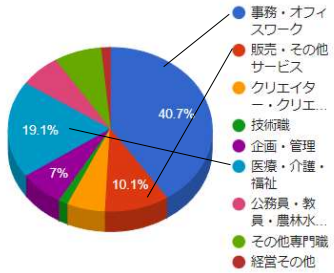
設問7. 上司に求めたいこと、について最も当てはまることを上位3つまで選択してください。(複数選択可)



設問8. 求める上司に近い有名人(タレント、スポーツ選手、経営者などなたでも)がいれば男女1人ずつ記入してください。

男性	女性
1位 新庄剛志	1位 天海祐希
2位 マツコ・デラックス	2位 小池百合子
3位 タモリ	同率 指原莉乃
	水トアウンサー
	米倉涼子
	有働由美子(アナウンサー)

設問9. あなたが最も働きたいという職種があれば教えてください。(現在、働いている方は今後、最も働きたいと思う職種を選択してください)



設問10. ご自身がスキルアップしたい、学びたいと感じている分野があればチェックしてください。
(複数選択可)

